

本市初の女性の監査委員としてもしっかりと頑張って参ります。

3月2日から11日にかけて3月議会（平成27年度の暫定予算議会）が行われました。例年であれば2月から3月にかけて1ヶ月半近く予算議会が行われるのですが、今年は市長選挙があったため、6月議会が平成27年度の本予算議会となります。

今議会は30分枠で一般質問に立てさせていただきました。（最近は一般質問の希望者が多く、昨年から本来の1時間枠を二人で分けて質問することができるようになりました。）質問の項目と主な内容は下記の通りです。

また今議会は任期の折り返しの時期で、委員会の所属が変わりました。私はこれまでの第2分科会の保健病院委員会から第3分科会の経済港湾委員会（産業経済局、港湾空港局を所管）に所属することになりました。予算と決算の委員会では同じ第3分科会の教育委員会、上下水道局にも質問ができます。これまで同様積極的に質問してまいります。

加えて、これから2年間は市の監査委員をさせていただくこととなりました。今議会本市初の女性の副議長が誕生しましたが、私も本市初の女性の監査委員としてしっかりと頑張って参ります。

一般質問項目と主な内容

1、特別支援教育の充実について

特別支援学級や特別支援学校に通う、児童生徒の数は年々増えています。

本市では基礎的基本的な学力の確かな定着を図るために、現在、放課後等に補充学習を実施する「子どもひまわり学習塾」事業が行われてあり、来年度拡充する予定ですが、障害があるもしくは学校になじめず不登校となっている子供たちの中には、バランスよく学力を向上させることができ代わりに、ある分野で特別な才能をもっている子供たちもいます。

アメリカでは「ギフテッド」と呼ばれる先天的に平均よりも顕著に高い能力を持っている生徒のプログラムがあり、その能力を伸ばす教育を受け、将来的に活躍したりしていますが、日本では取り組みが遅れていて、中には医療関係者や教育者の知識不足により、ギフテッドが誤診され、不必要的薬の摂取などによってその才能や能力を鎮圧させてしまうケースも多いとお聞きします。

私はもちろんギフテッドの児童生徒に限らず、ぜひ特別支援を要する子どもたちが、何か一つでも夢中になって人生を豊かにできたり、才能を伸ばして将来の自立につなげるためにもプログラムが必要であると考えます。本市の特別支援教育の今後の考え方についてとその上で例えば絵画や、パソコン、音楽、スポーツなど、ぜひ大学や民間の方々のご協力などをいただきながら、本市において特別支援版子どもひまわり塾のようなことが実現できないかを尋ねました。

教育長は「まずは学校教育法の考え方に基づいて取り組むということになるが、少し実験的にというのは、なかなか難しい。いずれにしても非常に大切な分野なので、問題提起と受け止め関心を持ってまいりたい。」とのことでした。加えて特別支援学級の拡充についても要望しました。



監査委員の委嘱式

2、中小企業支援の拡充について

本市の事業所の99%、雇用の約8割を中小企業が占めています。

昨年12月に経済港湾委員会から提出され、議会で可決成立した「北九州市中小企業振興条例」も、いよいよこの4月1日から施行され、そのことも踏まえ、中小企業と対話し、中小企業の課題を解決する施策の充実について見解を伺いました。市長は「多くの中小企業と対話しながら、その課題を解決するために支援をすることは、非常に重要な政策と考えている。今後とも、他都市の事例も参考にしながら、中小企業の実態把握や支援体制の充実に努めるなど、より一層の中小企業振興に全力で取り組んでいく。」とのことでした。

3、若松区のまちづくりについて

1、競艇場への市民ホールの設置について

昨年11月27日、若戸大橋・若戸トンネル無料化の財源として、競輪、競艇特別会計から20億円を繰り出すことが決まりました。競艇事業の安定的な運営の基礎に若松区民の事業に対する理解と協力があることを踏まえると、今回の改修に合わせて市民区民にこれまで以上に開かれた身近な施設となるよう100名以上のパーティなどもできる市民が使いやすいホールの設置を、平成25年12月議会において提案をし、当局からは施設の設置を検討するとの答弁がありましたので、今回はその後の市民ホールに関する検討状況について伺いました。

産業経済局長から「市民ホールの整備については、東スタンド改修に合わせ周辺に特別観覧施設を整備する方向で準備を進めている。この施設は新規ファンの獲得や競艇のイメージアップが主たる目的ではあるがこれに加え、市民主催のイベントや講演会、会議などに着座形式で約200人、立食形式で約300人が利用可能なホールとしても活用していただけるものと考えている。施設整備スケジュールは、平成28年度に完成予定の東スタンド改修事業の工程との兼ね合いがあるため、今後、着工に向けた調整を進める」とのことでした。

2、グリーンパークについて



陽春の候、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？私はといえば、日常の議員、議会活動に加え、昨年の12月から衆議院選挙、今年の1月には市長選挙、また4月には県知事選挙、県議会選挙と選挙が続く中、思いがけず父が体調を崩し入院するなどし、母と交代での看護と不規則な仕事の中、これまで子供のことをかなり両親に頼っていましたが、かなり大変ではありますが、経験することすべてに意味があると頑張っています。

父は長い間定期的に健康診断をするなどかなり気を付けていましたが、たまたまここ数年は肺炎などを起こして入院し、その中でいろいろ検査をしたつもりできちんとした健康診断を受けていなかつたため病気が悪化してからの発見治療となり、改めて定期的な健康診断の大切さを痛感しております。

本市は健康診断の受診率が低いことが大きな課題であり、私自身も日頃から議会でもそのことを発言していただけになおさら胸が痛みます。自分だけでなく家族で毎年健康診断を受けたかどうかをチェックしておく必要性を強く感じました。

健康が何よりも宝物です。皆様もどうぞ定期的な健康診断を受診されますように。